

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>1. 本市における訪問型育児支援の現状について</p> <p><b>【質問趣旨】</b> 令和5年4月に設立された、こども家庭庁の基本理念には、0歳～2歳までの支援を強化し、妊娠出産育児を通じて全ての子育て家庭の様々な困難・悩みに応えられる伴走型支援を強化することと示されております。</p> <p>また、愛知県では3月25日に子育てに不安を持つ家庭へ向けての家庭訪問型子育て支援「ホームスタート」を推進していくことを発表しており、</p> <p>(次ページへ)</p>	<p>(1) ママサポーター派遣事業について</p>	<p>① ママサポーター派遣事業の直近3年の出生数に対する利用実績は、令和元年度出生数794名に対し1名、令和2年度出生数738名に対して4名、令和3年度747名に対して5名となっていますが、利用者数についての見解をお伺いします。</p> <p>② 利用対象者は、体調不良および家族からの手助けが得られない方等となっています。保健師が行う対象者の判断基準について、課題として認識されている点はあるのか伺います。</p> <p>③ ママサポーター派遣事業の案内方法は、対象者と判断した方へチラシでの案内となっています。チラシでの案内に加えてホームページや子どもガイドへの掲載をしたらどうかと考えますが、見解をお伺いします。</p> <p>④ ママサポーター派遣事業の対象期間が、出産後おおむね2か月となっており、2か月を過ぎた後は、ファミリーサポートセンターの支援へ移行すると聞いております。</p> <p>しかしながらファミリーサポートの支援内容は、こどもの預かりや送迎などが中心でママサポーター派遣事業のような家庭訪問型支援はしていないのが現状です。その状況を踏まえて産後2か月という期間に対して、充分だと判断をされているのかお伺いします。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。

1 番	黒柳 知世 議員	
質問タイトル (大項目)	質問項目 (中項目)	具体的質問内容 (小項目)
<p>県内では6市町(豊橋市、岡崎市、西尾市、新城市、岩倉市、武豊町)で取組を実施しております。</p> <p>0歳から2歳の子を持つ家庭に対するの支援は喫緊の課題であり、本市においても訪問型支援として様々な取り組みをされていますが、現状と効果を検証し、早急に制度の拡充をするべきだと考え質問していきます。</p>	<p>(2)本市における虐待相談件数について</p> <p>(3) 県内の取組事例について</p>	<p>①本市において、子ども・若者センターへの児童虐待相談件数は、平成30年度には685件でしたが、令和4年度は1,741件となっています。本市においては、児童虐待による重大な事例は発生していないと聞きますが、この増加傾向は見逃すことはできないと考えます。市の見解を伺います。</p> <p>②本市における令和4年度、新規虐待相談件数の年齢別割合は、0歳から3歳未満は17%、0歳から小学校入学前までですと43%を占めていますが、どのように原因分析をされて、どのような対応をしているのかお伺いします。</p> <p>①愛知県が推進している「ホームスタート」は、小さな子どもを育てている家庭向けに、自宅に訪問し育児サポート、家事サポート、悩み相談などをする制度です。現在実施している市で多少の違いはあるものの利用対象者は、家族の手助けの有無、病気かどうかなどは関係なく、対象期間についても母子手帳交付から小学校就学前までなどとなっています。本市において「ホームスタート」の制度については、どのような見解かお伺いします。</p> <p>②子ども若者センターへの相談内容の中で、虐待とは別に「育児相談」が全体の約10%を占めており、「ホームスタート」の制度は、この課題解決にも寄与すると考えますが、見解を伺います。</p>

- 備考 1. 必ず、大項目を【1、2、3・・・】、中項目を【(1)、(2)、(3)・・・】、小項目を【①、②、③・・・】として明記し、質問内容、要旨等の具体的かつ明瞭化に努める。  
2. 数値の答弁を求める場合は、必ずその旨を記載する。また、過去の経緯、他市の状況等の答弁を求める場合も、同様の扱いとする。  
3. MS明朝体、12ポイントで記載する。